

第 3 回義務教育に係る政策研究会

資 料

平成17年12月27日

京都府教育委員会

# 目 次

1	協議事項	1
2	「新しい時代の義務教育を創造する」(中央教育審議会答申) の抜粋	2
3	学校週5日制に対応した学力充実・向上の取組	4
4	休業日(土曜日)の児童生徒の活動状況	6
5	他府県における土曜日活用方策	7
6	土・日曜日の過ごし方アンケート結果から	8
7	休業日における子どもたちの体験活動等に関する 調査まとめ	11
8	休業日(土曜日)における子どもたちの体験活動の内容	12
9	「総合的な学習の時間」について	13

## 第3回義務教育に係る政策研究会 協議事項

### 1 「学校週5日制」について

- (1) 休業日（土曜日）の活用方策について
- (2) 地域社会で子どもを育てる環境づくりについて

### 2 「総合的な学習の時間」について

- (1) 「総合的な学習の時間」の在り方について
- (2) 府としての支援策について

# 新しい時代の義務教育を創造する

(中央教育審議会答申 平成17年10月26日)

## 第 部 各論

### 第1章 教育の目標を明確にして結果を検証し質を保証する

#### - 義務教育の使命の明確化及び教育内容の改善 -

#### (1) 義務教育の使命の明確化

##### イ 学校の役割の重要性の再認識

学校は、子どもたちが集団生活をする中で、義務教育の目標が実現されるよう、発達段階に応じて、教育内容を体系的に編成して提供し、組織的、計画的な教育を行うことを、その基本的な役割としている。また、学校がその役割を果たす上で、家庭や地域との連携・協力が大変重要である。

特に、平成8年7月の中央教育審議会答申「21世紀を展望した我が国の教育の在り方について(第一次答申)」以来、学校の役割を巡っては、学校、家庭、地域の連携とりわけ家庭、地域の教育力の充実が必要であるとの基本的な方向がとられ、それに沿って、学校週5日制が導入され、子どもの居場所づくりなどの施策が推進されている。

学力の向上をはじめ子どもたちの健全な育成のためには、睡眠時間の確保、食生活の改善、家族のふれあいの時間の確保など、生活習慣の改善が不可欠である。子どもの育成の第一義的責任は家庭にあり、教育における保護者の責任を明確化することが必要である。

また、学校外の多様な学習活動について、情報提供や支援を行い振興を図っていくことも有効である。

さらに、大人が家庭や地域で子どもの教育に十分役割を果たせるようにするためには、大人の働き方の問題がかかわっており、企業の協力も必要である。男女共同参画社会において、職業を持つ母親が増えており、子育てと職業が両立できるようにするための行政や企業の取組、父親の子育てへの参画のための環境作りも求められる。

他方、今日、朝食をとっていない子どもの問題など、家庭や地域の教育力が依然として不十分な現状、あるいは今後更にそれらの教育力が低下する懸念、格差拡大の懸念などを背景として、学校と家庭、地域との役割分担の在り方が改めて議論されている。

本審議会でも、家庭や地域の教育力を取り戻すことは難しく、学校への期待は大きいとの意見、一方で、本来家庭や地域が果たすべき機能を学校に持ち込むのではなく、家庭や地域がその責任を果たすことが必要であるとの意見、家庭の教育力が低下しているからといって学校の役割を拡大しても、子どもの心の満足は得られず、家庭の教育力は学校で代替できる性質のものではないとの意見などが出された。学校週5日制についても、両方の立場から様々な意見が出された。

このほか、家庭の支援のための福祉行政との連携の必要性、ゲーム・テレビの影響などマスメディアを含め大人社会の在り方の問題なども意見として出された。また、学校と、家庭・地域とが共同し、両方が教育力を高めるべきとの意見も出された。

これらも踏まえると、学校週5日制についても、学校、家庭、地域の三者が互いに連携し、適切に役割を分担し合うという基本的な考え方は今後も重要であり、それを基本にしつつ、地方や学校の創意工夫を生かすことについて、今後さらに検討する必要がある。その際、特に、学校、家庭、地域の協力・共同の取組をこれまで以上に強化するための方策、土曜日や長期休業日の有効な活用方策等を更に検討する必要がある。

## (2) 教育内容の改善

### イ 学習指導要領の見直し

総合的な学習の時間については、大きな成果を上げている学校がある一方、当初の趣旨・理念が必ずしも十分に達成されていない状況も見られる。

また、義務教育に関する意識調査の結果によると、総合的な学習の時間については、全体として評価は高いが、小学校と中学校とでは教師、保護者、子どもの意識や評価に差があることが明らかになった。

思考力、表現力、知的好奇心などを育成する上で総合的な学習の時間の役割は今後とも重要であるが、同時に、授業時数や具体的な在り方については、各教科との関係を明確化するなど改善を図ることが適当である。その際、全国的に一律に定めるのか、学校の裁量による弾力的な取扱いができるようにするのかなどを考慮する必要がある。

また、学習が効果的に行われるよう、学校に対する支援策を充実することが必要である。さらに、総合的な学習の時間の充実のためには、学校外の人材の協力や地域との連携が重要である。

# 学校週5日制に対応した 学力充実・向上の取組

## 府教育委員会の施策

1 学力診断テスト

2 「夢・未来校」などの研究指定事業

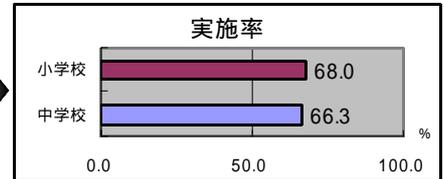
3 子どものための京都式少人数教育

## 各学校における学力向上対策の状況

### (1) 指導時間の量的な確保

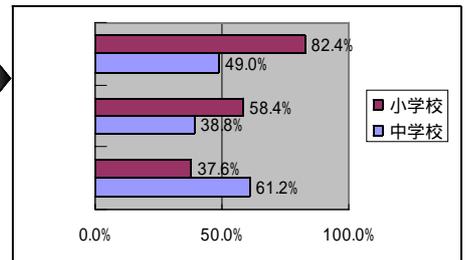
#### ア 標準時数以上の授業時間の上乗せ

多くの学校において、学校教育法施行規則で定められた「標準時数」以上の授業時数を当初から計画している。



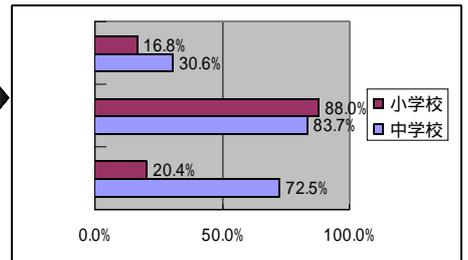
#### イ 補習的な指導のための時間設定(授業日)

全員の児童生徒を対象に実施  
特定の児童生徒を対象に実施  
特定期間に補習を実施



#### ウ 長期休業における補足的な指導

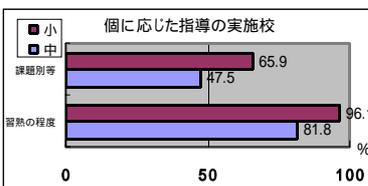
全員の児童生徒を対象に実施 (小:約4日、中:約7日)  
特定の児童生徒を対象に実施 (小:約5日、中:約6日)  
希望者を対象にした「質問教室」などを実施



### (2) 指導の質的な充実

#### ア 習熟の程度に応じた指導などの実施

府内小中学校において、「習熟の程度に応じた指導」や「課題別の指導」などを実施



#### イ 診断テストの分析による授業改善

問題ごとの分析  
つまづきをなくす指導へ

個人別の分析  
個に応じた指導や手立て

#### ウ 研究指定校等による教材開発

指導上の課題に対応する、教材の開発

開発した教材を活用した実践と実践事例の波及

## 学力の推移

小学校基礎学力診断テストにおける「過去同一問題」(平成8年度)に注目して正答率を比較

### 第4学年の結果

..... 13問中10問(77%)で正答率が上昇

### 第6学年の結果

..... 15問中13問(87%)で正答率が上昇



平成8年度と同一問題を出題して77%~87%の問題で正答率が上回るなど、全体としては、基礎学力の定着はより確実に進んでいる。

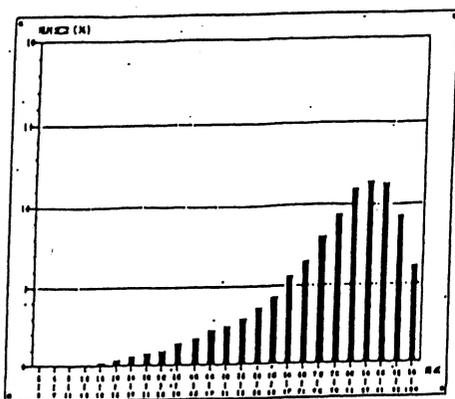
小学校基礎学力診断テスト得点分布表  
 中学校学力診断テスト得点分布表

平成8年度と平成17年度の比較  
 平成15年度と平成16年度の比較

平成17年12月22日  
 学校教育課

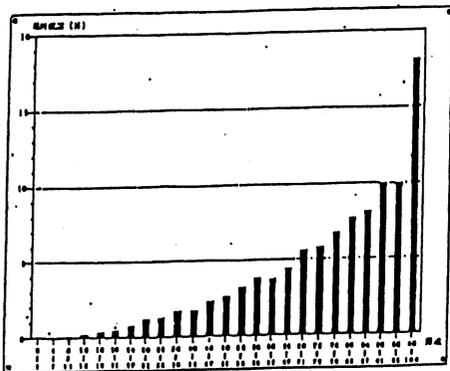
平成8年度

6年  
 国語



平均得点 74.8点

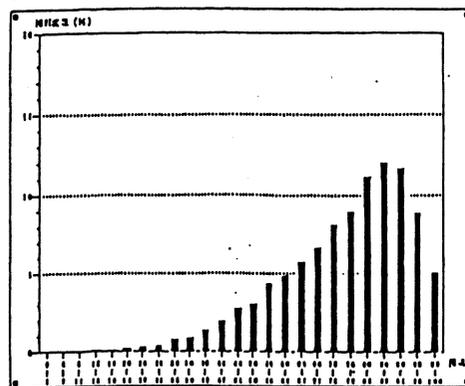
6年  
 算数



平均得点 75.3点

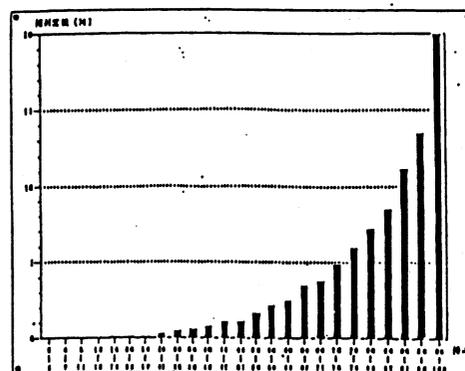
平成17年度

6年  
 国語



平均得点 75.1点

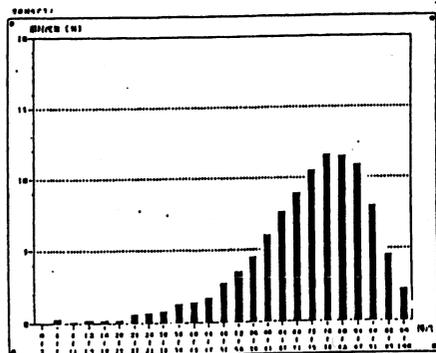
6年  
 算数



平均得点 83.2点

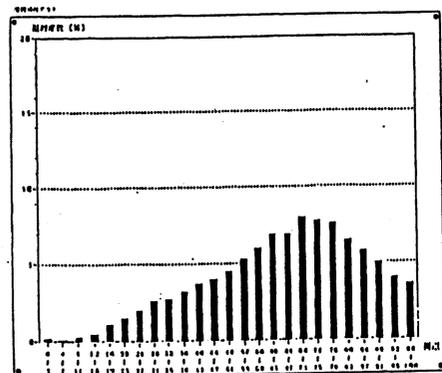
平成15年度

中2  
 国語



平均得点 70.8点

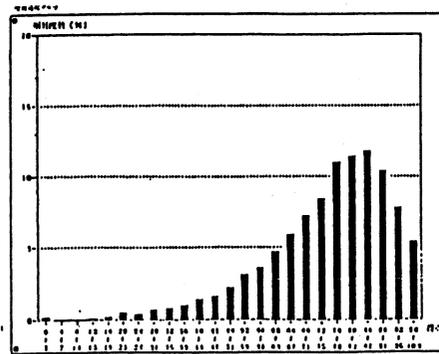
中2  
 数学



平均得点 62.8点

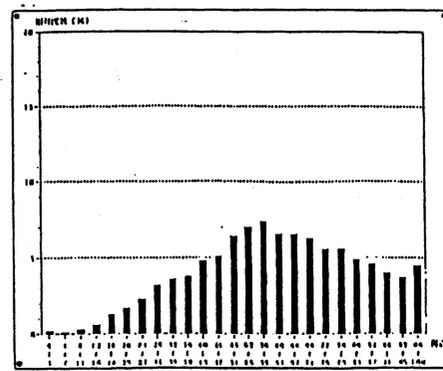
平成16年度

中2  
 国語



平均得点 73.5点

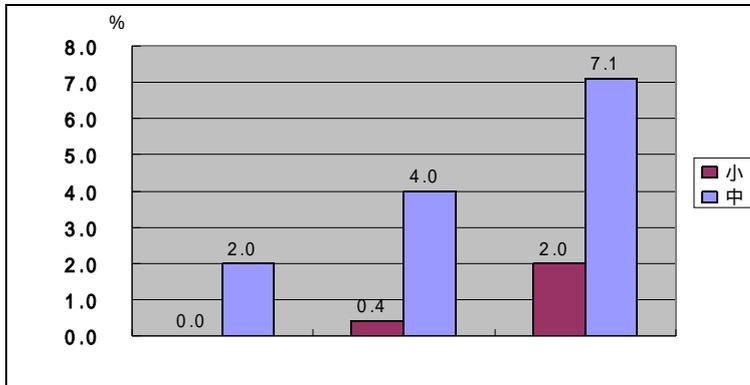
中2  
 数学



平均得点 59.4点

## 休業日(土曜日)の児童生徒の活動状況

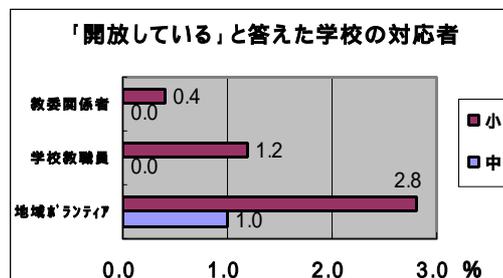
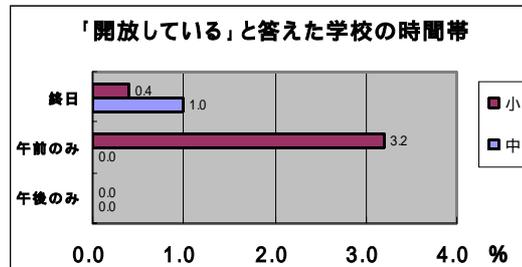
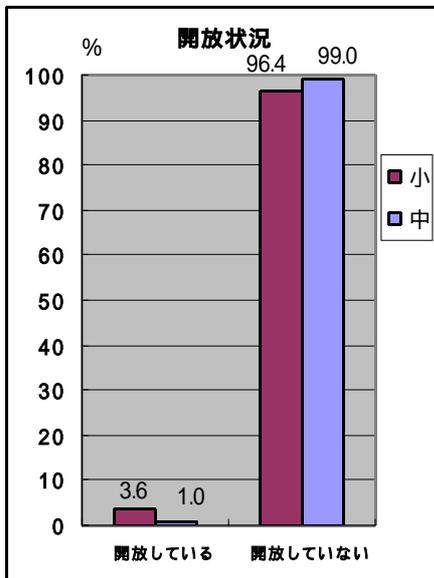
休業日(土曜日)を含めた休日における「いわゆる補習的な指導」等  
 全ての児童生徒を対象とした「いわゆる補習的な指導」を月1回以上実施  
 特定の児童生徒を対象とした「いわゆる補習的な指導」を月1回以上実施  
 希望者を対象とした「質問教室」「学習相談会」などを適宜開設



小学校 6校  
 中学校 13校で実施

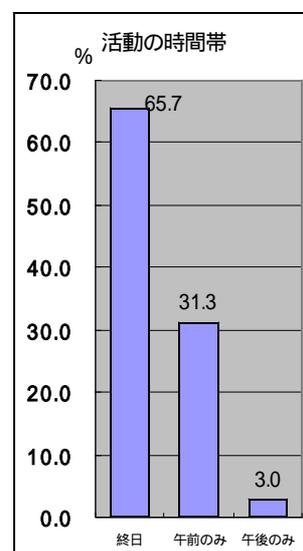
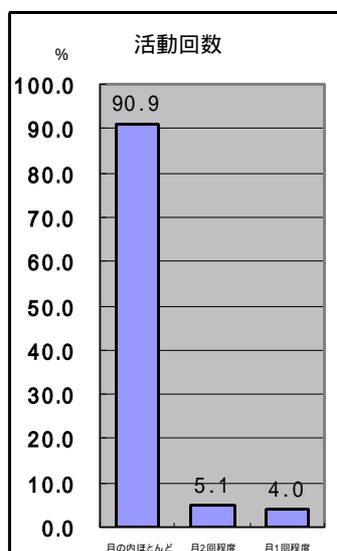
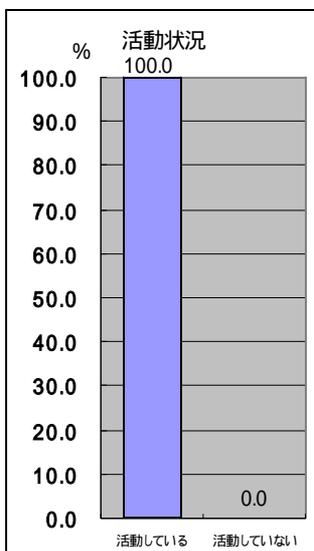
例: 「算数・理科教室」  
 「サタデー勉強室」  
 「漢字検定に向けて」  
 「部活動開始前の学習会等」

### 学校図書館の自校の児童生徒への開放状況



自校の児童生徒への開放は、小中学校 349校中 10校で実施

### 中学校の部活動状況



中学校は、100%部活動を実施  
 90%強が月の内ほとんどの土曜日に活動

## 他府県における土曜日活用方策

文部科学省調査(「完全学校週5日制に対応した取組の概況」(平成14年5月29日:記者発表))より

NO	種別	都道府県	地区	施策	概要
1	学・他	北海道	札幌市	ジュニア・ウィークエンドセミナー	・土曜日講座 自らの生き方や勉学の意味等を見直す。 ・人生の意味、勉強本来の目的等の講義/科学・パソコン等の分野入門
2	学・他	秋田県	全体	自学自習支援事業	・小・中・高等学校 非常勤講師を配置、 ・目的意識を持った土曜日の過ごし方を身に付ける/学習意欲の向上
3	学	福島県	北塩原村	村営学習塾	・毎週土曜日中学校を開放 小学校4年生～中学校3年生 ・学習意欲のある子どもを対象に学習指導を行う村営学習塾を開講。
4	学・他	埼玉県	深谷市	生きる力をはぐくむ510サポートプラン	・小中学生英会話事業(英会話教室) ・小学生の親子及び中学生を対象
5	学・他	千葉県	野田市	サタデースクール	・指導員 教員免許をもつ者、大学生 ・毎週土曜日に算数の補習等 小学生(希望者)を対象
6	学・他	東京都	品川区	すまいるスクール	・小学校1年生～6年生(希望者)対象 指導 ボランティア、保護者等 ・月～土曜日に、自習・スポーツ、算数・国語、英会話等から選択。
7	学	愛知県	犬山市	子ども大学	・小中学生対象に、情報教育、科学、美術等9学科12コース ・指導員 地元の大学生や専門家(大学や学習塾の講師)。
8	学・他	鳥取県	気高町	心豊かな故郷をつくる学習支援ボランティアの募集	・休日の先生役「心豊かな故郷をつくる学習支援ボランティア」を募集。 ・体験活動、文化活動、学習活動、スポーツ活動等を展開。
9	学	鳥取県	鹿野町	学びの道案内「学びげーたー」募集	・「学びげーたー」を、「高校生/図書/学習ボランティア」の3分野で募集 ・子どもたちの体験活動等にボランティアを派遣。
10	学・他	熊本県	熊本市	館内・外体験活動支援講座	・子ども文化会館で行う子ども向け講座。 ・野外活動中心「げんきッス」/演劇活動「げきッス」を土曜日に実施。
11	学・他	熊本県	小川町	寺子屋教室	・町内36の自治公民館を活用 寺子屋教室を日曜日に実施。 ・指導者 地域の高齢者やPTA等、地域の歴史の学習、昔遊び等

諸資料より(平成17年度の状況)

NO	種別	都道府県	地区	施策	概要
1	学	群馬県	全体	土曜補習	・県教委が市町村教委に促す 実施モデルを示した文書を配布 ・指導員 教員(希望者制 休日振り替え可)
2	学	東京都	中央区	土曜スクール	・小学校の国語・算数、中学校の数学・英語。 指導員 指導補助員 ・月2回 小学校3校のモデルと全中学校で実施
3	学	東京都	世田谷区	土曜課外講座	・区内中学校対象 日本物理学会や区法曹会と協力 ・各分野の専門家による最先端の科学や芸術の講座
4	学	石川県	金沢市	土曜スクール	・県立高校で実施 年間18回予定 生徒9割強出席 ・基礎・発展のコース別で英会話・国・数等を行う。
5	学・他	福井県	敦賀市	土曜スクール	・小学校3校で試験的に実施 1時間程度宿題等の指導 ・他 スポーツや手話の練習等 ・指導員 有資格者、大学生ら有償ボランティア
6	学	長野県	御代田町	土曜授業	・指導員 公募形式(英・数・国) ・自習形式で教材は町教委が用意 出席率3割
7	学	兵庫県	伊丹市	土曜学級	・小学生は国語・算数、中学生は国語と数学 ・指導員 教職経験者、大学院生、大学生、教職免許保持者
8	学	和歌山県	和歌山市	土曜教室	・小学校3校で試験的に実施 非常勤講師(有資格者) ・習熟度や希望にあわせたプリントやドリルによる指導
9	学	鹿児島県	鹿児島市	自己開発講座	・県立高校で実施 大学入試に向けた補習 OB講演も ・年20数回実施

学 補習等 他 その他

## 土・日曜日の過ごし方アンケート結果から

平成17年7月実施

### 1 体験活動への参加状況

小学2年生	57.0%
小学5年生	56.9%
中学2年生	23.5%

小学生の6割弱、中学生の2割強が体験活動に参加  
(この1学期間で1回以上参加した割合)

### 2 参加した主な体験活動の内容

(%)

順位	学年	小学2年生	小学5年生	中学2年生
1		スポーツ活動 25.1	スポーツ活動 31.1	スポーツ活動 47.3
2		野外活動(キャンプ) 21.1	自然を守る活動 20.6	自然を守る活動 14.6
3		自然を守る活動 18.4	野外活動(キャンプ) 15.1	福祉体験活動 7.8
4		陶芸等作品作り 13.9	陶芸等作品作り 12.2	野外活動(キャンプ) 7.8
5		和太鼓・音楽 6.5	そば打ち・料理 7.7	そば打ち・料理 4.6
6		そば打ち・料理 4.7	和太鼓・音楽 5.6	囲碁・将棋・茶道 4.3
7		農林魚業体験 4.5	科学・理科実験パソコン 2.8	陶芸等作品作り 3.9
8		科学・理科実験パソコン 3.9	囲碁・将棋・茶道 2.6	科学・理科実験・パソコン 3.6
9		囲碁・将棋・茶道 1.9	農林魚業体験 2.3	和太鼓・音楽 3.6
10				農林魚業体験 2.5

どの学年も「スポーツ活動」が最も多い。  
「自然を守る活動」(花壇づくりやクリーン作戦等)も比較的多い。

「科学・理科実験・パソコン」は、3%前後である。

### 3 体験活動に参加して良かったこと

(%)

順位	学年	小学2年生	小学5年生	中学2年生
1		学校や家ではできない体験 ができた 28.0	学校や家ではできない体験 ができた 44.3	学校や家ではできない体験 ができた 33.9
2		友だちが増えた 26.0	友だちが増えた 20.5	特に思わなかった 33.5
3		大人の人からいろいろ教え てもらった 17.0	特に思わなかった 14.5	友だちが増えた 15.7
4		勉強に役立つことが多かっ た 11.0	大人の人からいろいろ教え てもらった 11.3	大人の人からいろいろ教え てもらった 9.7
5		特に思わなかった 11.0	住んでいる地域のことを学 べた 4.8	住んでいる地域のことを学 べた 5.1
6		住んでいる地域のことを学 べた 7.0	勉強に役立つことが多かっ た 4.6	勉強に役立つことが多かっ た 2.1

「学校や家ではできない体験ができた」ことを良かったと思う子どもが一番多い。

4 土曜日はどこで過ごすことが多いか

(%)

	幼稚園児(年長)	小学2年生	小学5年生	中学2年生
家の中	56.0	44.0	39.8	33.0
家の外	44.0	56.0	60.2	67.0

学年が上がるにつれ、外で過ごす割合が高い。

5 家の中で、どのように過ごすことが多いか(家の中と答えた子どもの内数)

(%)

順位/学年	幼稚園児(年長)	小学2年生	小学5年生	中学2年生
1	手伝い・家族と一緒に過ごす 42.3	テレビ・パソコンで遊ぶ 36.0	テレビ・パソコンで遊ぶ 35.0	テレビ・パソコンで遊ぶ 43.8
2	テレビ・パソコンで遊ぶ 24.5	手伝い・家族と一緒に過ごす 32.0	手伝い・家族と一緒に過ごす 30.9	ゆっくり休む 28.2
3	学校や塾の宿題等をした 20.3	読書・音楽を聴く 14.0	ゆっくり休む 12.3	読書・音楽を聴く 17.7
4	読書・音楽を聴く 8.4	学校や塾の宿題等をした 10.0	読書・音楽を聴く 11.0	手伝い・家族と一緒に過ごす 6.5
5	ゆっくり休む 4.5	ゆっくり休む 8.0	学校や塾の宿題等をした 10.8	学校や塾の宿題等をした 3.8

家の中で、テレビやパソコンで遊ぶことが多い。

6 家の外で、どのように過ごすことが多いか(家の外と答えた子どもの内数)

(%)

順位/学年	幼稚園児(年長)	小学2年生	小学5年生	中学2年生
1	友だちと一緒に外で遊んだ 57.2	友だちと一緒に外で遊んだ 36.0	友だちと一緒に外で遊んだ 35.1	学校の部活動に参加 47.4
2	お使いや買い物・食事等外出した 29.8	お使いや買い物・食事等外出した 28.0	塾や習い事に行った 28.2	友だちと一緒に外で遊んだ 30.6
3	塾や習い事に行った 9.7	塾や習い事に行った 21.0	ボーイスカウトやスポーツ少年団 19.3	お使いや買い物・食事等外出した 7.7
4	地域行事・子ども会祭りに参加 3.3	ボーイスカウトやスポーツ少年団 11.0	お使いや買い物・食事等外出した 16.6	塾や習い事に行った 6.8
5		地域行事・子ども会祭りに参加 4.0	地域行事・子ども会祭りに参加 0.8	ボーイスカウトやスポーツ少年団 6.8
6				地域行事・子ども会祭りに参加 0.7

中学生は部活動、小学生は友だちと外で一緒に遊んだが多い。

7 土曜日に何をするか、親子で話し合っているか（保護者対象調査）

（％）

	幼稚園（年長）	小学2年生	小学5年生	中学2年生
いつも話し合っている	19.0	23.0	24.2	14.6
時々話し合っている	34.0	38.0	35.1	29.2
あまり話し合っていない	25.0	24.0	24.9	27.3
話し合っていない	22.0	15.0	15.8	28.9
	53.0	61.0	59.3	43.8
	47.0	39.0	40.7	56.2

幼稚園・小学校では5～6割、中学校では4割の親子が「土曜日の過ごし方について」話し合っている。

8 土曜日をお子さんにどのように過ごしてほしいか（保護者対象調査）

複数回答

（％）

順位	学年	小学2年生	小学5年生	中学2年生
1		屋外で友だちと遊ぶ 22.1	身の回りの整理整頓 21.4	身の回りの整理整頓 25.3
2		身の回りの整理整頓 20.1	屋外で友だちと遊ぶ 19.1	学校の部活動 20.0
3		家族と一緒に過ごす 13.2	家の手伝い 12.1	家の手伝い 15.0
4		家の手伝い 10.5	青少年団体やスポーツ少年団活動 11.8	勉強や読書 10.9
5		勉強や読書 9.1	勉強や読書 9.8	屋外で友だちと遊ぶ 8.7
6		市町村や公民館等の体験活動 8.7	市町村や公民館等の体験活動 8.7	家族と一緒に過ごす 5.7
7		青少年団体やスポーツ少年団活動 8.7	家族と一緒に過ごす 8.4	市町村や公民館等の体験活動 4.5
8		ピアノや習字などの習い事 3.5	学校の部活動 4.1	青少年団体やスポーツ少年団活動 3.8
9		学校の部活動 2.8	ピアノや習字などの習い事 2.8	ピアノや習字などの習い事 3.6
10		学習塾に通って勉強 1.3	学習塾に通って勉強 1.8	学習塾に通って勉強 2.5

低学年の保護者は、「屋外で友だちと遊ぶ」、高学年・中学生の保護者は、「身の回りの整理整頓」することを望んでいる。

特に、「学校の部活動に頑張してほしい」という保護者の希望も多い。（2割）

# 休業日における子どもたちの体験活動等に関する調査まとめ

【平成17年9月調査】

## 曜日別体験活動等の実施件数

曜日等	体験活動等の実施件数	調査対象事業等																		
土曜日	<p>平均 115.3件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>日</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9</td> <td>3</td> <td>99</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>10</td> <td>145</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>17</td> <td>118</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>24</td> <td>99</td> </tr> <tr> <td>合</td> <td>計</td> <td>461</td> </tr> </tbody> </table>	月	日	件数	9	3	99	9	10	145	9	17	118	9	24	99	合	計	461	<p>子どもたちや親子を対象とする体験活動・奉仕活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域子ども教室推進事業</li> <li>・京のわくわく探検事業（府事業）</li> <li>・市町村教育委員会、公民館、図書館、社会教育施設等主催事業</li> <li>・地元自治会、老人会、女性会、PTA等の主催事業等</li> </ul> <p>中学校区98を対象に調査（京都市内を除く。）</p> <p>注1 スポーツ少年団活動（少年野球や少年サッカー等）、中学校部活動については、調査対象外</p> <p>注2 調査期間中の土日等に小中学校の運動会・体育祭が多数実施されており、体験活動が実施されない日もある。</p>
月	日	件数																		
9	3	99																		
9	10	145																		
9	17	118																		
9	24	99																		
合	計	461																		
日曜日	<p>平均 44.8件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>日</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9</td> <td>4</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>11</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>18</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>25</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>合</td> <td>計</td> <td>179</td> </tr> </tbody> </table>	月	日	件数	9	4	44	9	11	39	9	18	54	9	25	42	合	計	179	
月	日	件数																		
9	4	44																		
9	11	39																		
9	18	54																		
9	25	42																		
合	計	179																		
祝日	<p>平均 14.5件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>日</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9</td> <td>19</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>23</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>合</td> <td>計</td> <td>29</td> </tr> </tbody> </table>	月	日	件数	9	19	16	9	23	13	合	計	29							
月	日	件数																		
9	19	16																		
9	23	13																		
合	計	29																		

# 休業日（土曜日）における子どもたちの体験活動の内容

H17年9月調査

## 1. 体験活動内容一覧

	体験ジャンル	具体的な活動内容			
1	自然体験	1 アウトドア教室	5 バードウォッチング	9 カヤック教室	
		2 キャンプ	6 探検	10 親子サマイロ収穫体験	
		3 親子稲刈り	7 バッタ採り		
		4 生き物観察	8 カヌー教室		
2	科学体験	1 発明クラブ体験学習	5 星空観察会		
		2 ペットボトルロケット	6 宇宙の話		
		3 プラネタリウム	7 風力発電所見学		
		4 エネルギー遊び	8 小学生科学教室		
3	スポーツ体験	1 陸上教室	11 バドミントン	21 硬式テニス	
		2 サッカー教室	12 エコロベース	22 フットサル	
		3 キックベース	13 ソフトバレー	23 ニュースポーツ体験教室	
		4 太極拳	14 ドッジボール	24 剣道教室	
		5 走ろう会	15 水泳教室	25 ミニバス教室	
		6 卓球	16 ハンドボール教室	26 子どもティ・ボール教室	
		7 トランポリン	17 スポーツに親しむ日	27 ホッケー教室	
		8 ソフトボール	18 合気道教室	28 バレーボール教室	
		9 グランドゴルフ	19 ドッジビー	29 柔道教室	
		10 ダンベル体操	20 スポーツ交流教室	30 スポーツチャンバラ	
4	文化サークル (文化体験)	1 ヒップホップダンス	5 紙すき体験	9 ジュニアバンド	13 サウンドハーモニー
		2 踊り	6 創作教室	10 コーラス広場	14 華道・茶道教室
		3 和太鼓教室	7 親子陶芸教室	11 子ども合唱団	15 アートフラワー
		4 生け花教室	8 ジュニアコーラス	12 日本舞踊教室	16 絵画教室
5	読書活動	1 ブックトーク	5 絵本の時間		
		2 図書館子どもの広場	6 ふれあい図書館		
		3 読み聞かせ	7 民話の朗読		
		4 お話し会	8 絵本の読み聞かせ		
6	ボランティア活動	1 クリーン作戦			
		2 清掃活動			
		3 花壇整備			
7	イベント(運動会等)	1 地域文化祭	5 ミニ運動会	9 少年の主張	
		2 人形劇フェスティバル	6 体育館開放スポーツデー	10 展示発表会	
		3 水域採集展覧会	7 市民総合体育大会	11 科学作品展	
		4 歴史資料館特別展	8 アイデア作品展		
8	PTA等地域行事	1 PTA除草活動	5 PTA親子実験		
		2 PTA(紙すき)			
		3 PTA廃品回収			
		4 PTA地引き網体験			
9	スポーツ少年団	1 少年サッカー大会			
10	製作体験	1 竹とんぼ作り	4 木工ひろば	7 勾玉教室	10 工作教室
		2 クラフト	5 折り紙教室	8 三味線づくり	
		3 手芸クラフト	6 割り箸鉄砲	9 案山子づくり	
11	趣味・遊び体験	1 将棋・囲碁	4 ドミノ遊び	7 ヒップホップダンス	10 ヨーガ
		2 自由遊び	5 トランプ・オセロ	8 映画会	
		3 シャボン玉づくり	6 紙ひこうき遊び	9 フラダンス	
12	料理体験	1 料理講習会	3 パンづくり	5 料理教室	
		2 蒸しパンづくり	4 お菓子づくり	6 親子食育教室	
13	学習活動	1 漢字の達人教室	3 英語教室		
		2 パソコン教室			
14	その他	1 紙芝居	3 通学合宿		
		2 飼育活動			

# 「総合的な学習の時間」について

平成14年4月から  
実施  
(実施4年目)

教科等との違い  
各学校ごとに  
目標や内容を設定

各学校が創意工夫  
教科の枠を  
越えた学習

## 学校の取組

## 指導の観点

## 資料

### 「総合的な学習の時間」のねらい (小中共通)

- 自ら課題を見付け、生き方を考える学習
- (1) 自ら学び、自ら考える力の育成
  - (2) 学び方やものの考え方の修得
  - (3) 各教科等の学習で得た知識や技能を関連付けた総合化

「全体計画」の作成

- 資料  
1 - (1)  
1 - (2)

### 内容の例示

(小中共通)

- 教科をまたがるような課題に関する学習
- ・国際理解、情報、環境、福祉・健康など
  - 児童生徒の興味・関心に基づく学習
  - 地域や学校の特色に応じた学習

地域や学校、児童  
生徒の実態に  
応じて実施

- 資料  
1 - (3)

### 配慮事項

(小中共通)

- (1) 体験的な学習
- (2) 地域の教材や学習環境の活用
- (3) 小学校での英語活動は、  
体験的な学習を実施

積極性の育成  
地域人材活用や  
各種団体と連携

- 資料  
1 - (3)  
4 - (1)  
4 - (2)

### 協働的指導体制の整備

- (1) 主任を位置付け、指導体制を整備
- (2) 学年部や担任外教員との協働

指導体制の確立が  
必要

- 資料  
2 - (1)  
2 - (2)

### 「総合的な学習の時間」の時間数

- (1) 小学校では週当たり3時間程度  
(3年生以上で実施)
- (2) 中学校では週当たり2~3.5時間程度

焦点化、重点化

### 成果

- (1) 児童生徒の学習意欲や探究心の高まりが見受けられる
- (2) 児童生徒一人一人に学び方が身に付いている
- (3) 地域との連携の深まり

効果測定

- 資料  
3 - (1)  
3 - (2)  
3 - (3)

### 課題

- (1) 教員のカリキュラム開発能力の育成
- (2) 計画的な研修と組織的な実践

充実に向けて

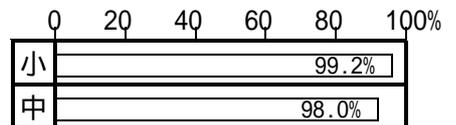
- 資料  
5 - (1)  
5 - (2)

## 「総合的な学習の時間」についての各学校の取組状況

### 1 現状について

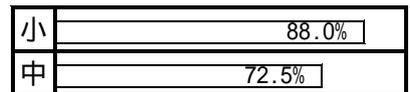
(1) 学校としての独自のカリキュラムを作成し実施

- ・小学校99.2%、中学校98.0%



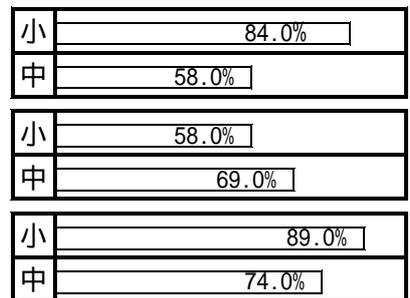
(2) 各教科等で学んだ知識・技能を関連づけて指導

- ・小学校88.0%、中学校72.5%



(3) 学習内容について

- ・横断的・総合的な学習：小学校84.0%、中学校58.0%  
小学校では「情報」「国際理解」、中学校では「環境」「福祉・健康」の率が高い（小学校における英語活動の実施率：100%）
- ・興味・関心に基づく学習：小学校58.0%、中学校69.0%
- ・地域・学校の特色に基づく学習：小学校89.0%、中学校74.0%  
（中学校における「職場体験活動」の実施率：86%）

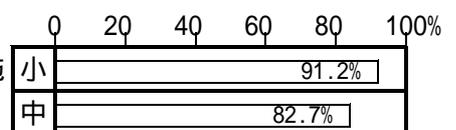


「総合的な学習の時間」は、各校で創意工夫されている。

### 2 指導体制について

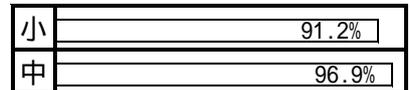
(1) 「総合的な学習の時間」の主任を任命し、学校指導体制を整備し実施

- ・小学校91.2%、中学校82.7%



(2) 学級担任任せでなく、学年部や担任外教員との協働体制で実施

- ・小学校91.2%、中学校96.9%

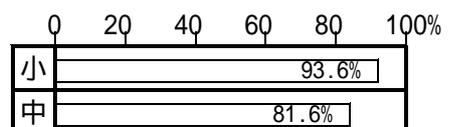


協働的指導体制を整備し、その実施に努めている。

### 3 成果及び効果について

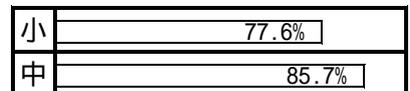
(1) 児童生徒の学習意欲や探究心の高揚

- ・小学校93.6%、中学校81.6%



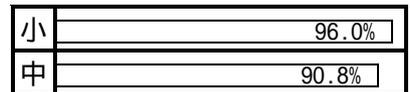
(2) 児童生徒一人一人が学び方を修得

- ・小学校77.6%、中学校85.7%



(3) 地域との連携の深まり

- ・小学校96.0%、中学校90.8%

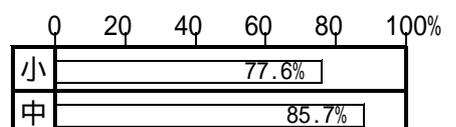


「児童生徒の学習意欲や探究心」の高まりや「地域との連携」の深まりなどに成果及び効果があるとされている。

### 4 連携について

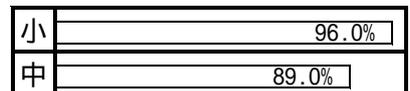
(1) 各教科・領域部と連携を図り、組織的な取組

- ・小学校77.6%、中学校85.7%



(2) 外部人材の活用

- ・小学校96.0%、中学校89.0%

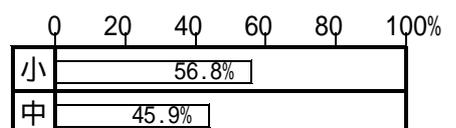


各教科等との連携や外部人材の活用に努めている。

### 5 課題

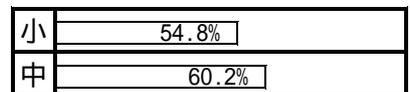
(1) 教員のカリキュラム開発能力の向上

- ・小学校56.8%、中学校44.9%



(2) 学校としての実施に当たり、計画的な研修会等を設定し開催

- ・小学校54.8%、中学校60.2%



学校独自のカリキュラムはおおむね作成されているが、系統的な指導計画の作成やその実施と改善に不可欠な学校としての計画的な研修機会の設定などに課題が見られる。